

## 既存杭の利活用・処理における情報表示ガイドラインの作成

令和5年2月28日

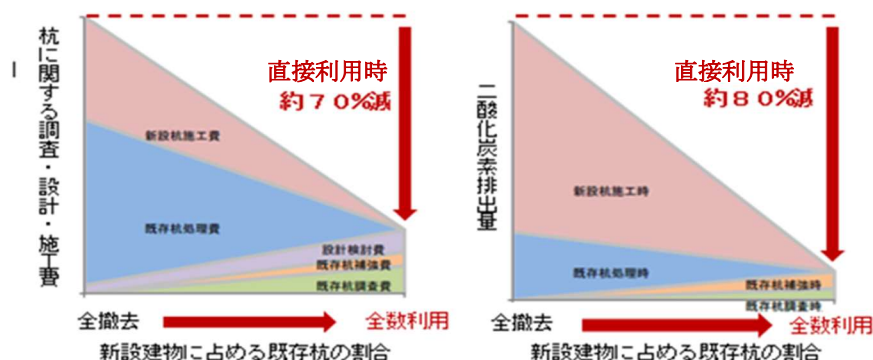
一般社団法人建築基礎・地盤技術高度化推進協議会（ALLF）

一般社団法人建築基礎・地盤技術高度化推進協議会（ALLF）は、「既存杭の利活用・処理における情報表示ガイドライン」を作成しました。既存建物と新築建物に関係する土地所有者・設計者等が、既存杭に関する共通の認識に基づく記録（情報）を引継ぐことが重要となっていることを踏まえた提案です。

都市部では、既存建物を解体しての建替えが多くなっています。既存杭の取扱いとしては、新築建物基礎への直接利用、敷地地盤の健全性・安定性を担保する目的での存置、撤去・埋戻しを行って更地化する場合があります。撤去時の埋戻し部やその周辺地盤は、原地盤より大幅に緩んでいる場合があります、原地盤の条件での設計は危険側になる可能性があります。

新築建物の設計者としては、既存杭の取扱いとそれに応じた情報に基づき、周辺地盤と一体的な複合地盤として評価することが合理的であると考えられます。そのためには、既存杭の取扱いに応じた記録（情報）を残しておく必要が有ります。本ガイドラインには、既存杭を直接利用する場合の必要な情報も示されています。

なお、地球環境への貢献としては、試算による新設杭の施工も含めた杭のライフサイクル CO<sub>2</sub> 削減効果は、直接利用で約 80%、存置でも 20%以上と見込まれます。



既存杭の直接利用や存置時（新旧建物が同規模の場合）における経済的メリット、杭のライフサイクル CO<sub>2</sub> 排出量\*の削減効果のイメージ図<sup>1)</sup>に加筆

\*杭のライフサイクル CO<sub>2</sub> 排出量：（新築時＋解体時）に対する解体時の CO<sub>2</sub> 排出量の割合

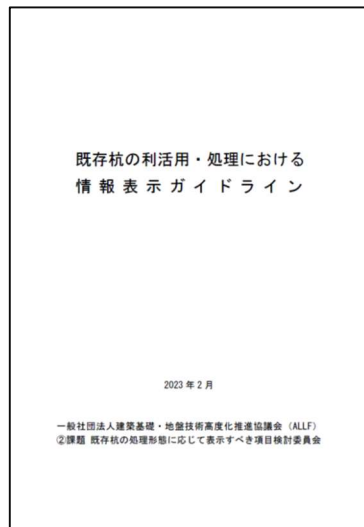
1) (一社) 日本建設業連合会 地盤基礎専門部会 杭の再利用 WG：既存杭利用の手引き—現在と将来の利用に向けて—, pp. 4-5, 2018. 11

<お問合せ>住所: 〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-7-2 ステージビルディング6F  
 一般社団法人建築基礎・地盤技術高度化推進協議会 事務局  
 Tel:03-5211-0581 Fax:03-5211-0548 e-mail:y-takano@all-foundations.org

本ガイドラインの詳細につきましては、当協議会のホームページより、ご覧ください。

『既存杭の利活用・処理における情報表示ガイドライン』

[http://all-foundations.org/GDL/guidline\\_dinfo.pdf](http://all-foundations.org/GDL/guidline_dinfo.pdf)



また、本ガイドラインをより分かりやすくご理解いただくため、リーフレットを作成いたしましたので、合わせてご活用ください。

『ALLFガイドライン活用リーフレット』

<http://all-foundations.org/GDL/leaflet.pdf>

